

日本版EHR フィールド3（共通診察券）

「共通診察券を活用した 健康情報活用基盤構築の実証実験」 状況報告

しまね健康情報活用推進コンソーシアム

1. 前回委員会からの更新点

実施体制 ※前回からの変更部分を赤字で記載

○ プロジェクトリーダー： **社団法人出雲医師会 児玉和夫**

参加団体種別	参加団体名	情報開示施設数
病院 (3施設)	島根県立中央病院、島根大学医学部附属病院、大田市立病院	1
診療所 (10施設)	知井宮堀江医院、児玉医院、すぎうら医院、遠藤クリニック、角医院、ふじのクリニック、小野医院、うめがえ内科クリニック、やまうち内科クリニック、須田医院	9
薬局 (20施設確定)	しまね薬局おおだ店、ワタキュー薬局おおだ店、あんず薬局、いちご調剤薬局北本町支店、すずらん薬局、知井宮ふれあい薬局、調剤薬局くすりのファミリア、つくし薬局、つくし薬局小山店、なかの薬局、服部薬局出雲支店、ファーマシィすこやか薬局、ファーマシィまごころ薬局、フラワー薬局、フラワー薬局平田店、平安堂薬局渡橋店、まきの薬局、みどり薬局、もも薬局、やまだ薬局	5
自治体	出雲市、大田市、斐川町 ※10月1日斐川町は出雲市と合併	-

○ 協力機関・団体： [社団法人 出雲医師会、社団法人 大田市医師会、島根県薬剤師会(出雲・簸川支部)、島根県薬剤師会(大田支部)、富士通株式会社、株式会社テクノプロジェクト]

○ 想定されるEHR運営の主体：**しまね健康情報活用推進コンソーシアム**

※参加機関数は前回からの変更なし

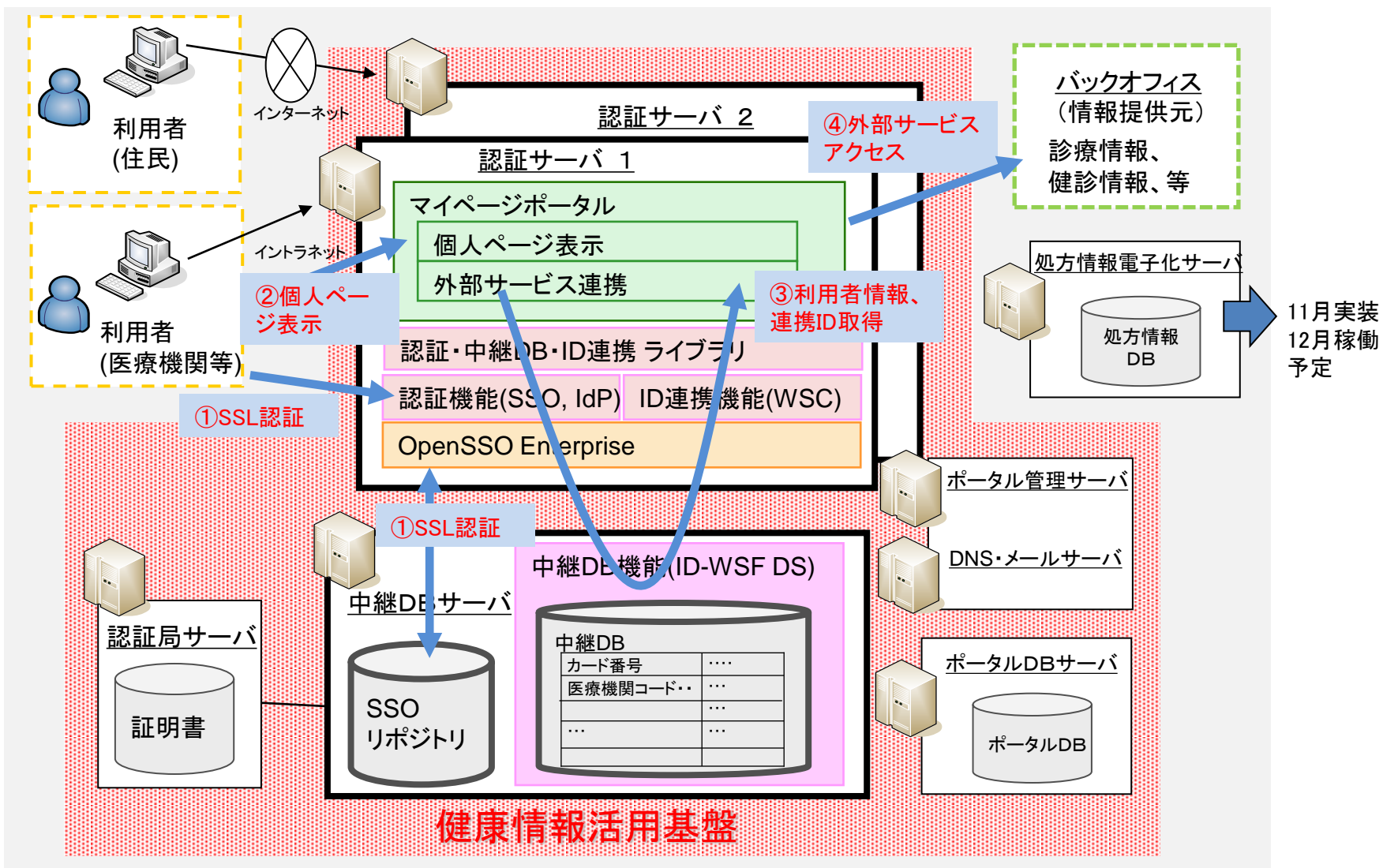
2. システム稼働状況

取り扱う情報

取り扱う情報	内容	登録の主体	閲覧の主体
診療情報	検体検査及び処方履歴	医療機関	医療機関、調剤薬局、患者
健診情報	特定健診の結果	医療機関(診療所)	同上
処方せん情報	処方せんの情報、付帯情報	医療機関(診療所)	調剤薬局
調剤情報	調剤結果	調剤薬局	医療機関(診療所)、患者
診療予約情報	医療機関が確保している「オープン枠」に対する診療予約の情報	患者	患者
利用記録	サービス(システム)の利用履歴	(サーバログを元に生成)	各参加団体、患者
救急情報 (詳細は検討中)	救急空床情報等	医療機関	消防機関

2. システム稼働状況

全体システム構成



- ◇ ICカード内の認証用電子証明書によりSSL認証
- ◇ 中継DBサーバにより利用者の情報や情報保有機関の外部サービスの連携ID等の情報取得
- ◇ 中継DBや連携する外部機関の情報へのシングルサインオンの実現方式としてSAML2.0を採用システム構築

2. システム稼働状況

○ 稼働開始までの日程

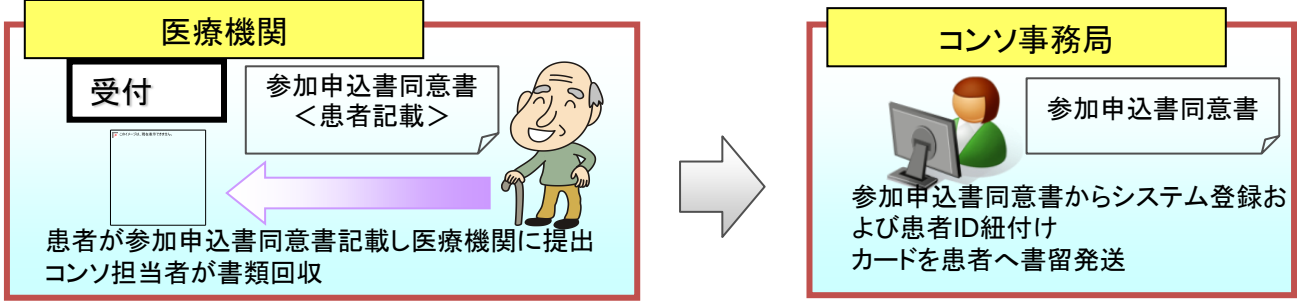
項目	内容	
システム構築	9月19日システムの構築及び全体テスト完了 (範囲は、診療予約、診療情報閲覧、健診情報閲覧サービス環境)	
実証開始	10月3日	
会議 (協議会、説明会)	会議	検討内容
	7月5日 コンソーシアム会議	キックオフ会議 事業概要説明
	8月9日出雲WG	処方情報電子化の運用、仕様の検討
	8月22日出雲WG	薬局向け参加者募集説明
	8月26日出雲WG	診療情報、健診情報閲覧の運用確認
	9月1日大田WG	診療情報、健診情報閲覧の運用確認 処方情報電子化の運用説明
実証開始当初の情報、参加機関	<ul style="list-style-type: none"> ・情報 処方情報、検査情報、健診情報、予約情報 ・登録可能参加機関数 10医療機関 ・閲覧可能参加機関数 13医療機関 	

2. システム稼働状況

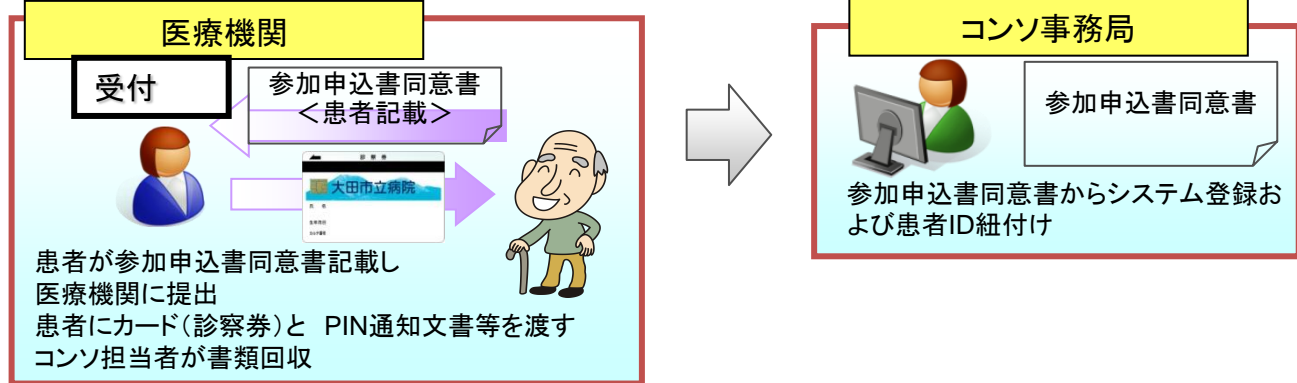
○ 実証実験における参加申込及び参加者(患者)の同意取得方法

◇参加の申込は、患者が医療機関にてICカードの発行および各医療機関でのID紐付けの手続きを行う。
※調剤情報の同意の取り方は調整中。

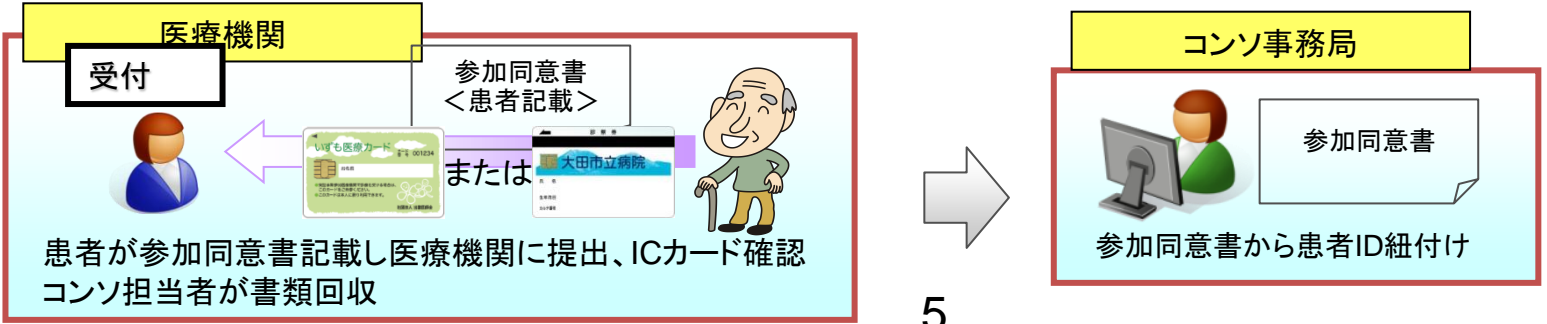
(1)カード発行(いずれも医療カード)



(2)カード発行(大田市立病院)



(3)カード追加登録(既存カードに別の医療機関でのID紐付けの手続き)



2. システム稼働状況

○ 参加者に対する周知・広報方法 <リーフレット>

- ・10月3日より配布開始
- ・参加医療機関の受付窓口にて配布

健康情報活用基盤 実証実験

実証モニター募集

期間 平成23年10月3日～平成24年2月29日

どなたでも参加いただけます。お申し込みはコールセンターまでお問い合わせください。

いずも医療カード 出雲 太郎
〒690 234
大田市立病院
〒690 1011
012345

診療券・保険証とあわせてご提示下さい。

大田地域および出雲地域で、地域医療の取組を行います

総務省では、複数の自治体の参画・連携の下、各地域が保有する医療情報を安全かつ円滑に流通させるための広域共同利用型のEHRシステムの確立・普及に向けた実証実験を全国3カ所で行っています。

「健康情報活用基盤実証実験」では、出雲医師会を代表とする「しまね健康情報活用推進コンソーシアム」が実施する実証実験です。ICカードを用いたインターネットサービス等を、住民の健康・医療機関・調剤薬局に実際にご利用いただき、評価・検証を行っていきます。皆様のご参加・ご協力をお願いします。

健康情報活用基盤実証実験 参加医療機関

大田	うめがえ内科クリニック 小野医院 医療法人弘生堂 須田医院 医療法人社団 聖静会 やまうち内科 大田市立病院	出雲	医療法人 遠藤クリニック 医療法人 聖光医院 医療法人 聖純会 すぎうら医院 角医院 医療法人 知井宮城江医院 ふじのクリニック 鳥根立中央病院 鳥根大学医学部附属病院	出雲市立病院 325-3 出雲市立病院 2242-69 出雲市立病院 2-8-3 出雲市立病院 920-1 出雲市立病院 924 出雲市立病院 2-3-5 出雲市立病院 4-1-1 出雲市立病院 89-1
深見	しまね東大田店 ワタケニュー薬局おた店	調剤薬局 けすりのファミリア つくし薬局 つくし薬局小山店 なまの薬局 新藤薬局出雲支店 ファミリーマートわか薬局 ファミリーマートこころ薬局	出雲市立病院 980-1 出雲市立病院 864-2 出雲市立病院 115-1 出雲市立病院 431-2 出雲市立病院 745-2-1 出雲市立病院 1539-80 出雲市立病院 733-4	出雲市立病院 843-19 出雲市立病院 92 平安堂調剤薬局 334-1 まきま薬局 おどり薬局 もも薬局 やまだ薬局

しまね健康情報活用推進コンソーシアム
社団法人出雲医師会(代表)・社団法人大田市医師会・鳥根立中央病院・鳥根大学医学部附属病院・大田市立病院・鳥根興業財団会(出雲・龍川支部)・出雲市・大田市・富士通株式会社・株式会社テクノプロジェクト

健康情報活用基盤 実証参加の流れ

もらう

実証実験参加医療機関で新規申し込み (平成24年1月まで)
● なたでもお申し込みいただけます。
● 申込時に、医療機関の診察券が必要で。
● 医療機関の窓口で所定の様式にご記入いただけます。
● 申込時に、4ヶ所の暗証番号をご指定いただけます。
● 簡単なアンケートをご回答いただけます。
*カードは、お申し込み本人様宛郵送いたします。

大田市立病院での申し込み (平成23年12月までまたは500枚配布まで)
● 大田市立病院の診察券をICチップ付きでご用意いただけます。
● 最大500名様にお申し込みいただけます。
● 実証実験窓口で所定の様式にご記入いただけます。
● 簡単なアンケートをご回答いただけます。

つかう

医療機関で使う
● 医療機関の窓口で、カードを持っている旨、お伝えください。
● 10月3日より診察室で医師にご提示いただけますと、他の実証事業参加医療機関での診療情報・健診記録が参照でき、幅広い情報に基づく、より質の高い診療を受けることができます。
● 診療室で医師が情報を閲覧するために、ご自身で暗証番号を入力していただきます。

自宅で使う
● 自宅に所定の条件を満たすパソコンをお持ちの場合、自宅でもカードをご利用いただけます。カード申し込み時に、カードを使うためのICカードリーダー/ライター、マニュアル、セットアップCDを申し上げますので、パソコンをセットアップしてください。
● 実証事業公式ホームページ <http://www.izumo-medcard.jp/> にアクセス。
● ご利用にあたっては暗証番号の入力が必要です。

答える

実証実験に参加頂きました皆様にはアンケートを郵送でお送りします。アンケートでは、実際に使ってみての感想・ご意見をお尋ねします。ご回答いただき、アンケートに同封されている返信用封筒でご返送ください。



※ いずも医療カード・ICチップ付大田市立病院診療券・カードリーダーの動作確認 (自宅でカードを使う場合)
● USB (1.1または2.0) ポート及びCD-ROMドライブのあるAT互換パソコン
- ディスクの空き容量 40MB以上
- 現在の他のカードリーダー/ライターを使用していないこと (実証実験専用のICカードリーダー/ライターを接続するた)
- ITU-T FDDI/100BASE-TX
- Microsoft® Windows® XP SP2以上
- Microsoft® Windows® Vista SP2以上
- Microsoft® Windows® 7
- 以下Webブラウザ
- Microsoft® Internet Explorer 6.0 SP3以上
◆ インターネットへの接続環境
(ADSL、CATV、光接続 等)

2. システム稼働状況

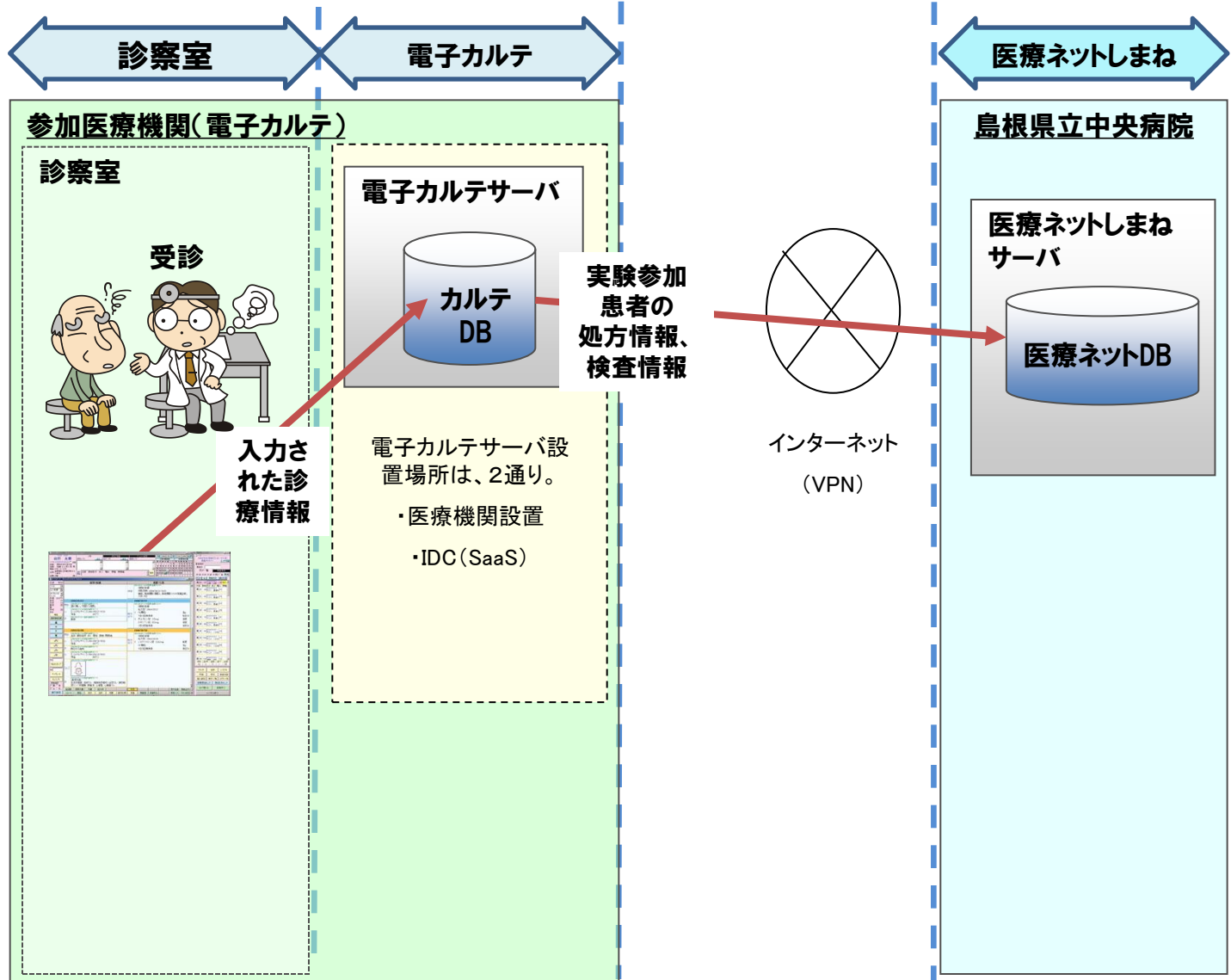
○ 参加者に対する周知・広報方法 <ホームページ <http://www.izumo-medcard.jp/>>

- ・9月20日より運営開始
- ・自宅PC閲覧希望の患者へは参加申込時に操作マニュアル、ICカードリーダー等を配布

2. システム稼働状況

データの流れ 
機能の流れ 

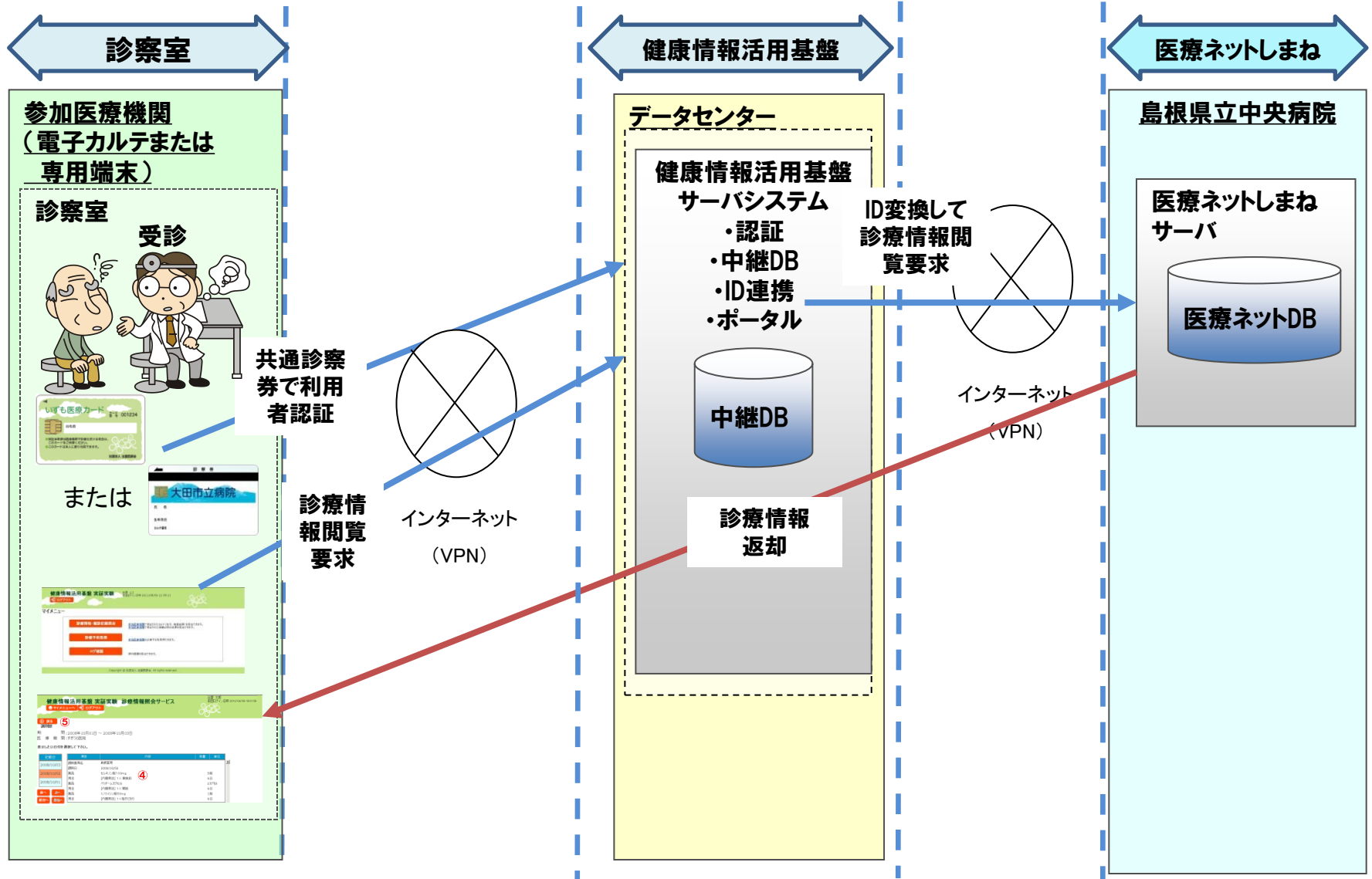
○データフロー ～診療情報の登録～



2. システム稼働状況

データの流れ →
 機能の流れ →

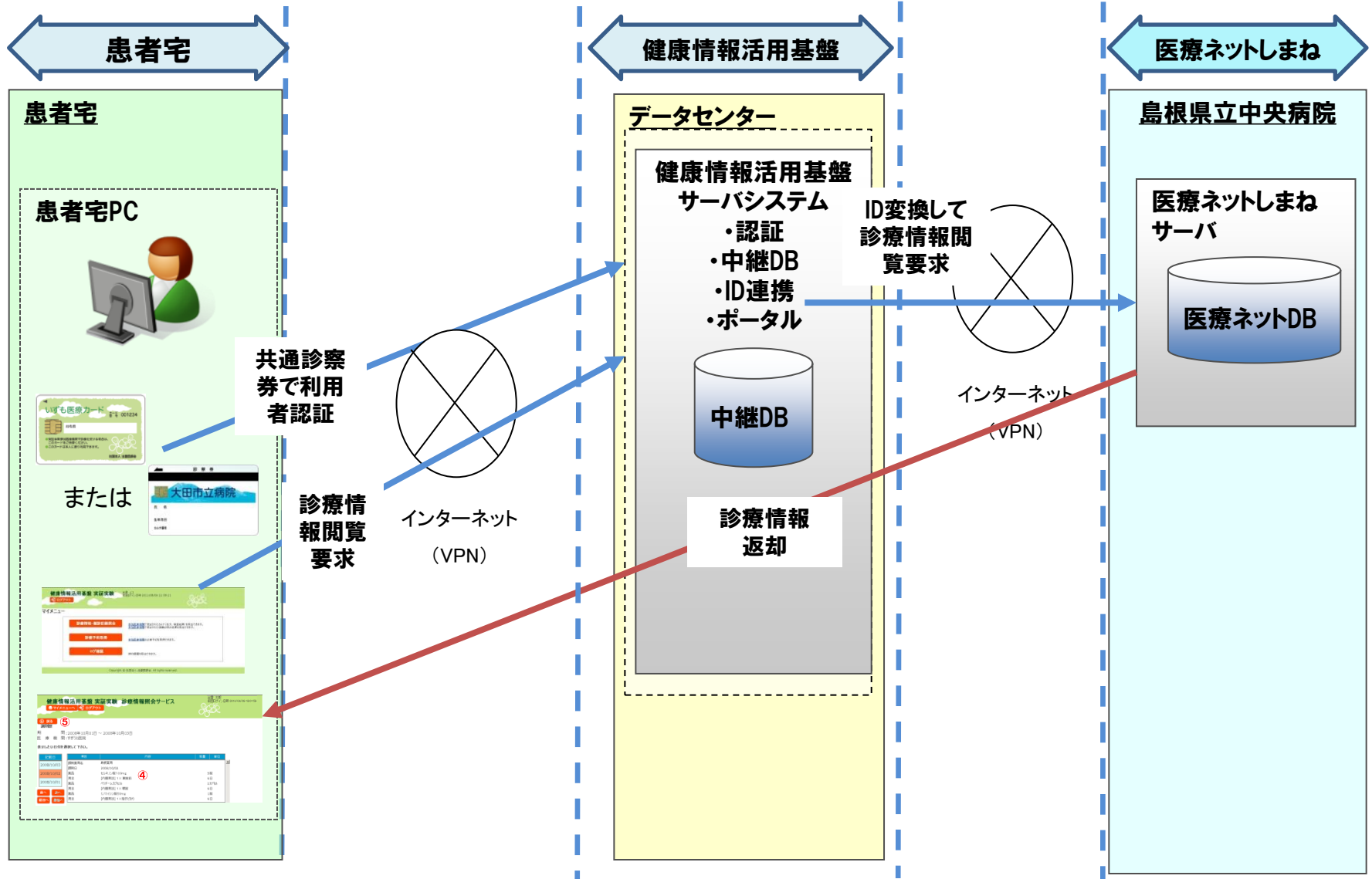
○データフロー ～診療情報の閲覧(医療機関から)～



2. システム稼働状況

データの流れ →
 機能の流れ →

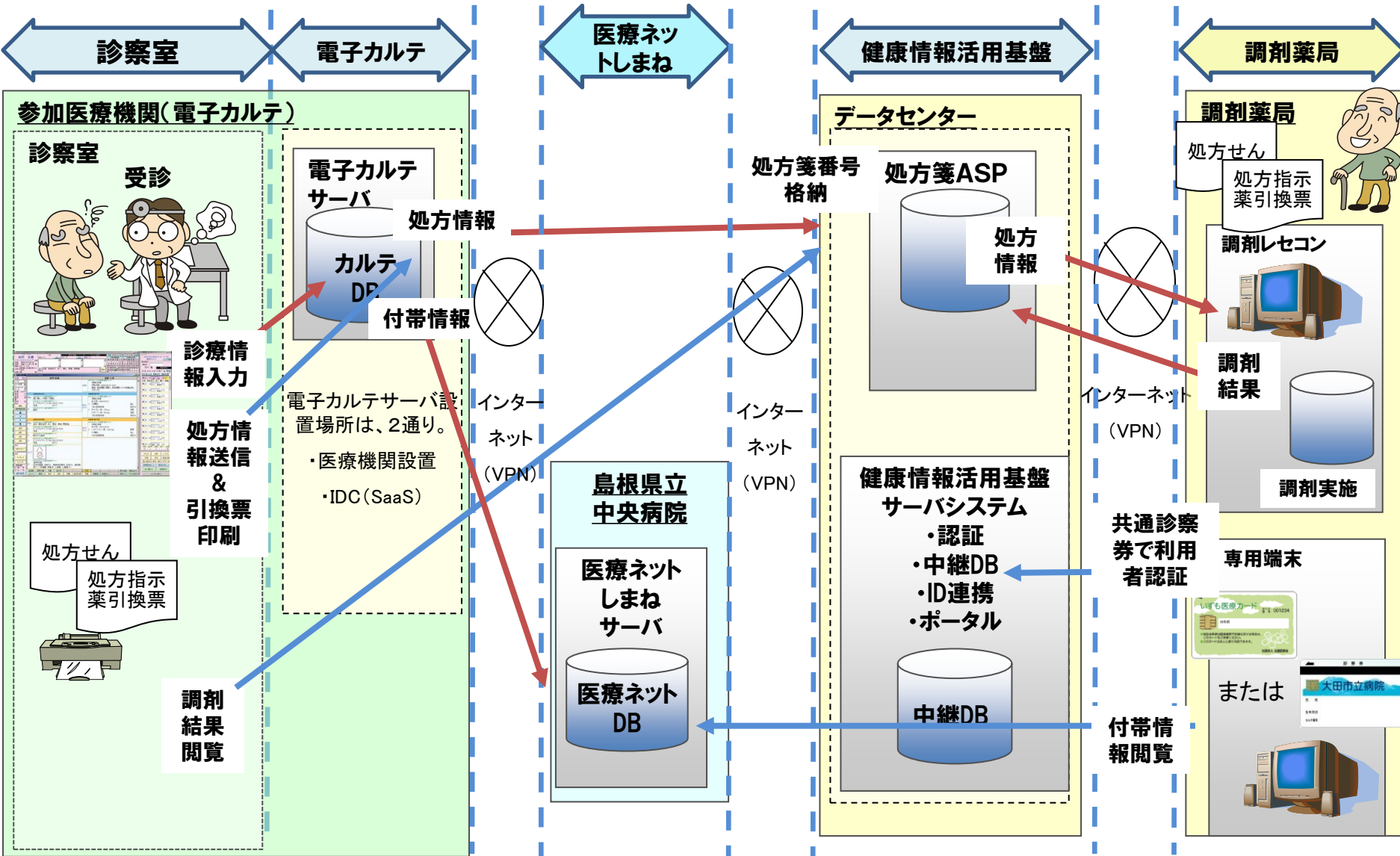
○データフロー ～診療情報の閲覧(患者宅から)～



2. システム稼働状況

データの流れ →
機能の流れ →

○データフロー ~処方情報の電子化 調剤レセコン連携あり~ 12月稼働



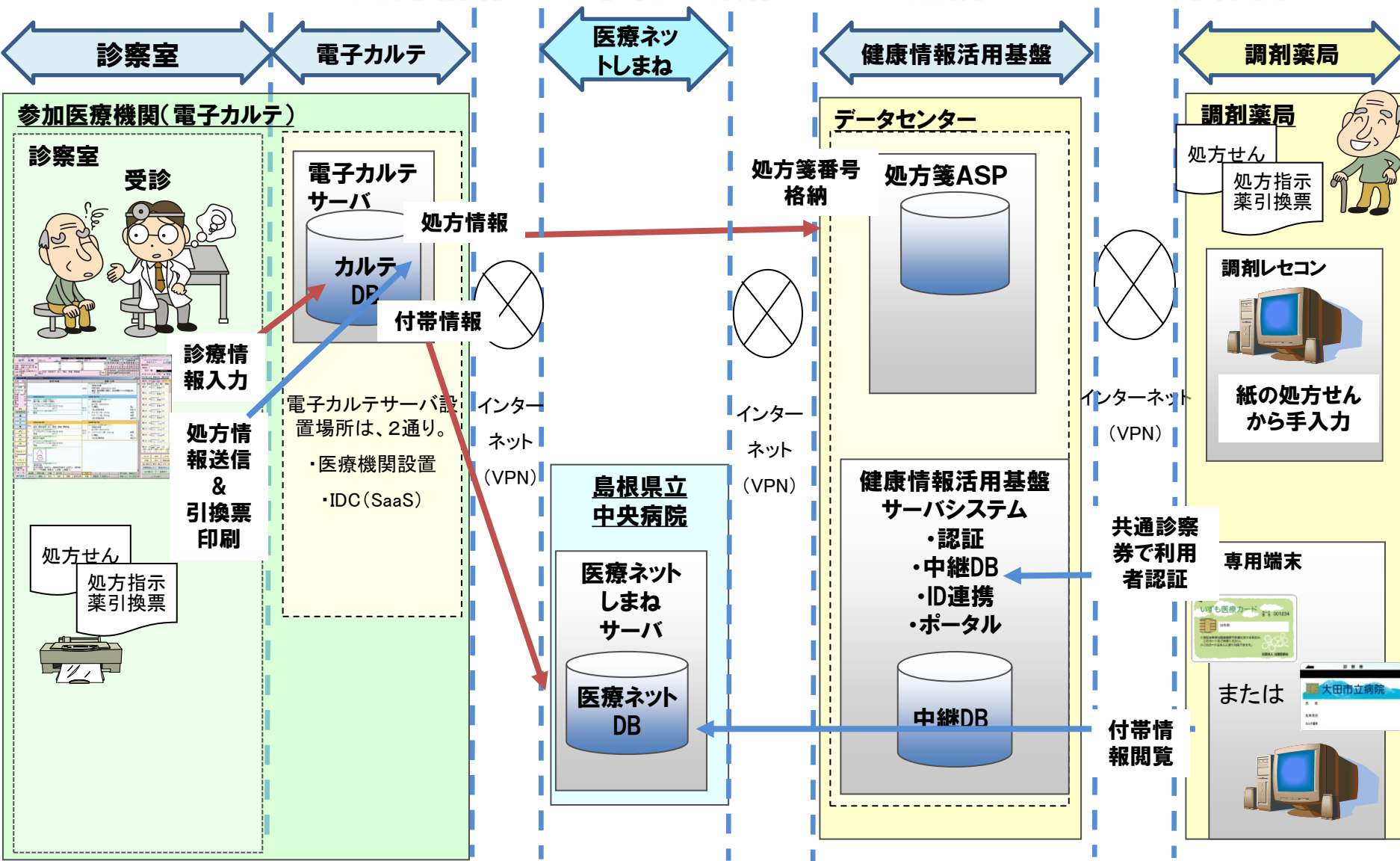
注 本事業については、現行制度において求められている書面での交付を実施しつつ、処方箋の電磁的な交付について、その技術的側面及び運用面の検討を行うものとする。

2. システム稼働状況

○データフロー ～処方情報の電子化 調剤レセコン連携なし～ 12月稼働

データの流れ →

機能の流れ →



注 本事業については、現行制度において求められている書面での交付を実施しつつ、処方箋の電磁的な交付について、その技術的側面及び運用面の検討を行うものとする。

2. システム稼働状況


○画面イメージ

処方情報

健康情報活用基盤 実証実験 診療情報照会サービス

出雲 次郎
前回ログイン日時 2010/05/22 16:32:03

マイメニューへ ログアウト



戻る

処方歴
期間: 2010年03月01日 ~ 2010年06月01日
医療機関: すぎょうら医院

表示したい日付を選択して下さい。


記載日	処方種類	項目	内容
2010/04/26	院外処方	薬品 用法 薬品 薬品 薬品 用法 コメント	2010/04/26 14:51:11 外来 アタラックス-Pカプセル25mg 1日2回朝夕食後 ガスター錠10mg 酸化マグネシウム PL顆粒 1日3回毎食後 後発医薬品への変更不可

検査情報

健康情報活用基盤 実証実験 診療情報照会サービス

出雲 次郎
前回ログイン日時 2010/05/22 16:32:03

マイメニューへ ログアウト



戻る
検査結果

期間: 2010年03月01日 ~ 2010年06月01日
医療機関: すぎょうら医院

表示したい日付を選択して下さい。

実施日	項目名称	検査結果	下限値	上限値	単位	コメント1	コメント2
2010/04/26	尿中4型コラーゲン	10					
2010/04/01	尿一般	20					

検査結果の文字色: 青色: 下限値を下回った値です。 赤字: 上限値を超えた値です。
(注) 下限値・上限値については、性別・年齢などによって変化しますので、参考値となります。
詳しくは医療機関にお問い合わせ下さい。

2. システム稼働状況

○画面イメージ

健診情報

健康情報活用基盤 実証実験 診療情報・健診記録照会サービス

出雲 太郎 初回ログイン日時 2010/04/09 18:01:59

マイメニューへ ログアウト

戻る

表示対象を絞り込みます。

絞り込み

全て選択 全て未選択

受診日

2009/10/01
特定健診
社保連携五

2009/08/01
特定健診(貧血追加)
社保連携四

項目名	単位	受診動向 ^{※1} 判定値	2009/10/01		2009
			基準値 ^{※2}	(受) ^{※3} 値 (基) ^{※4}	基準値 ^{※2}
医療機関名				社保連携五	
健診種類				特定健診	
身体計測					
身長	cm			160.0	
体重	kg			60.0	
BMI	kg/m2	18.5 ~ 25.0		23.4	18.5 ~ 25.0
腹囲				実測	
腹囲(実測)	cm	40.0 ~ 85.0		70.0	40.0 ~ 85.0
腹囲(自己判定)	cm				
腹囲(自己申告)	cm				
診察					
既往歴				特記すべきことなし	
(具体的な既往)					
自覚症状					
(所見)					
他覚症状					
(所見)					
血圧等					
収縮期血圧	mmHg	上限値 140		6	

診療予約

健康情報活用基盤 実証実験 診療予約サービス

出雲 太郎 初回ログイン日時 2011/09/06 12:39:21 5:43

マイメニューへ ログアウト

すぎうら医院

登録 医療機関選択 予約一覧

- ※1 受診動向判定値：重症化を防止するために医療機関(注)詳しくは医療機関にお問い
- ※2 基準値：検査項目に対し、多数の健康人(注)検査方法により基準値は
- ※3 (受)：受診動向判定値を上回っている受診動向判定値を下回っている
- ※4 (基)：基準値を上回っている場合↑を、基準値を下回っている場合↓を

2011年10月09日 日付 検索

診療科名 医師名

内科、小児科 島根大介 8

予約状況表で「○」が表示されている日時が予約可能です。診療科名、医師名、予約状況の順に選択し、登録ボタンをクリックして下さい。

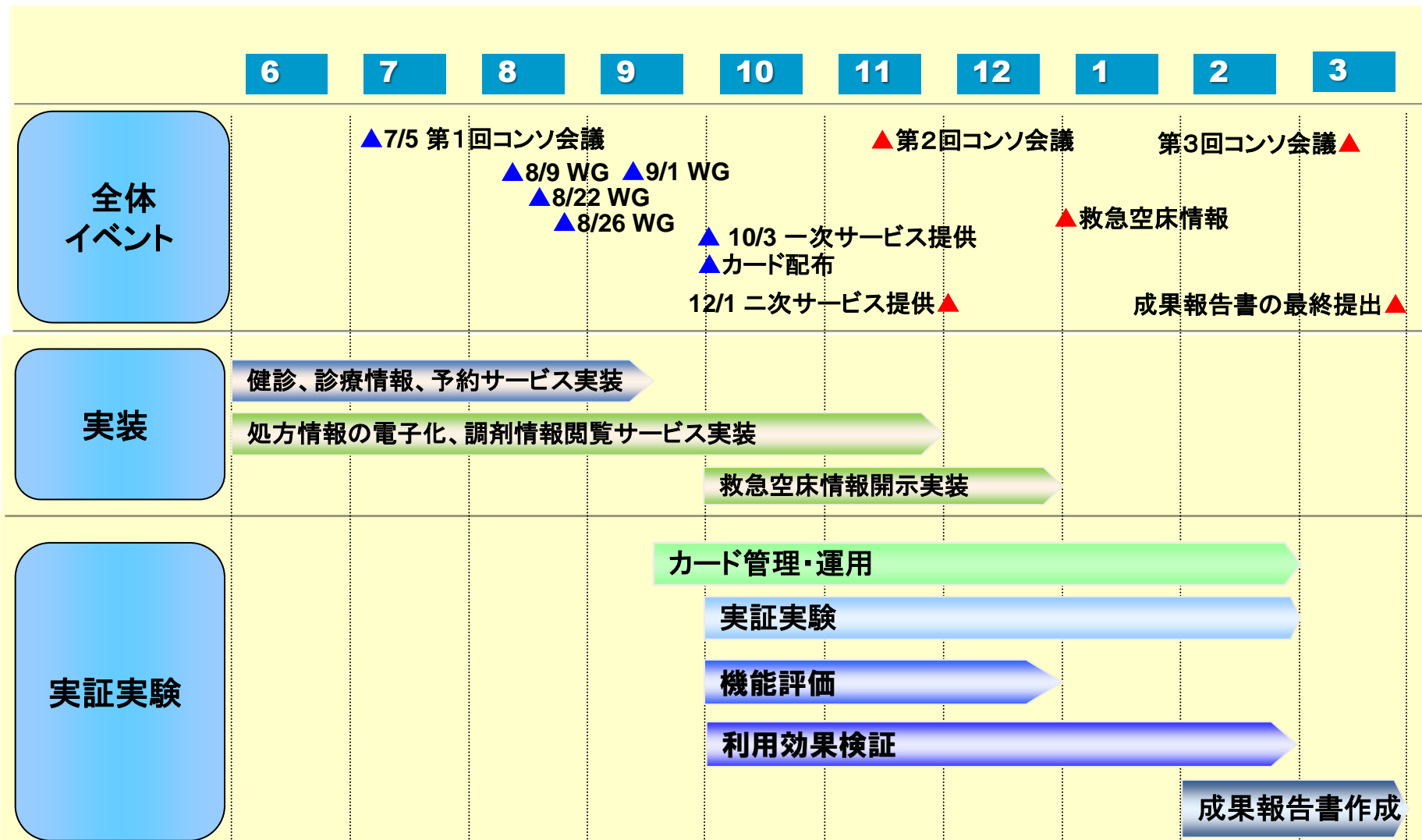
時間	予約状況						
	10/09	10/10	10/11	10/12	10/13	10/14	10/15
08:00~08:59	×	×	×	×	×	×	×
09:00~09:29	×	×	×	×	×	×	×
09:30~09:49	×	×	×	×	×	×	×
09:50~09:59	×	×	×	×	×	×	×
10:00~10:29	×	×	×	×	○	×	×
10:30~10:59	×	×	×	×	×	×	×
11:00~11:29	×	×	×	×	×	×	×

2. システム稼働状況

○現時点における課題・問題点

No.	課題・問題点	対応状況
1	<p>救急空床のシステム企画については、関係機関との調整に時間が掛かり、具体的な着手が遅れています。</p> <p>当初一部消防機関との連携を計画しておりましたが、検討を進める中で島根県全体で、医療再生計画とも絡めて検討することとなりました。そのためには、医療対策課や消防防災課を交え本格的な体制作り、意識付けが必要となった事が遅れている要因です。</p>	<p>2010年10月より島根県立中央病院の救急関連部門と現行の課題の整理を始めました。また、医療再生計画の補正予算も確定したことから、島根県全体としてどのように連携するかの検討も開始されるため、2012年1月の検証開始に向け詳細検討を進めたいと考えております。</p>
2	<p>処方情報の電子化において、調剤レセコンベンダー3社と連携調整を行い、現時点で協力戴けるのは1社となっております。</p> <p>実証実験参加薬局に採用されている調剤レセコンベンダー3社に対し、当コンソーシアムから地元ディーラを通して事業説明・協力要請(調剤レセコンの改修)を2回、個別打合せを2回実施しました。しかし、そのうち2社からスケジュールおよび体制の問題で、2011年度内の対応は困難との回答がありました。</p>	<p>参加薬局20のうち連携する調剤レセコンベンダー1社が採用されているのは5薬局となります。</p> <p>それ以外の薬局については、当該患者の診療情報参照サービスを利用してもらうことで、本実証実験に参加してもらい、データ収集を行う予定です。</p> <p>なお、他の調剤レセコンベンダーへの連携働き掛けについても継続して対応中です。</p>

3. 今後のスケジュール



【基盤】: 認証、中継DB

【サービス】: 診療予約、診療情報閲覧、健診情報閲覧、

処方情報の電子化(12月～)、調剤情報閲覧(12月～)、救急空床情報開示(1月～)

4. 第1回委員会での指摘事項に対する回答

No.	前回委員会の指摘事項	対応状況
1	医療・健康情報の管理の在り方についての検討。 (情報の蓄積方法(分散型・集中型)について、分散型の管理形態において各機関の保有情報を同期するタイミングについて、情報の保存期間について)	情報蓄積について「医療ネットしまね」(島根県立中央病院に設置)のシステムに集中型で蓄積しています。 保存期間は特に制限していません。
2	調剤情報について、沖縄県浦添市で実施した健康情報活用基盤実証事業で使用された技術『仕様』を使用することについての検討	沖縄県浦添市で実施した健康情報活用基盤実証事業で使用された技術『仕様』を可能な限り使用して構築しました。 なお、香川フィールドでの検討会に出席させて頂き、仕様の確認を行っております。
3	pdf,txt,xls,doc等の電子データにおけるウイルス感染対策及びモバイル端末における情報流出リスクへの対策についての検討	・pdf,txt,xls,doc等の電子データは未使用です。 ・モバイル端末は未使用です。
4	技術仕様について、現在どういったものが標準化され、どこまで使えるのかについての整理	当フィールドで使用している標準仕様は以下の通り。 SAML2.0、ID-WSF1.1、HL7 CDA R2、 「処方オーダリングシステム用標準用法マスタ仕様(内服および外用編)2010.8.19b 版」 (一般社団法人医療情報学会標準策定・維持管理部会策定)による標準的な用法マスタ
5	患者における利便性向上の視点を検証項目に入れることについての検討	当初より定性的効果検証項目として診療予約の利便性の向上を予定していますが、その他のサービスについても調査を予定します。

(参考) 検証項目

○ 機能評価検証

実施項目	実施内容	検証項目	
(1) 共通診察券を活用した共同利用型健康情報活用基盤の機能に関する検証	共同利用型健康情報活用基盤を構築し、複数の地方公共団体による共同利用・運用の有効性、将来性、課題等を抽出するとともに、共通診察券と共同利用型健康情報活用基盤の連携機能について、情報セキュリティ、ユーザビリティ、相互連携性等の観点から検証する。	実装した各機能の運用を通じ検証する。	
(2) 共通診察券を活用した医療・健康関連アプリケーションに関する検証	実証実験に協力する複数の医療機関等へのオンライン診療予約等、共通診察券を活用した医療・健康関連アプリケーションと健康情報活用基盤との連携について検証すると共に、その効果及び利便性について検証する。		
(3) 救急医療現場における情報連携に関する検証	医療機関と消防機関が、救急時の空床情報、及び患者の健康情報(診療情報、服薬情報等)を健康情報活用基盤を介して共有することが可能であることを検証するとともに、その効果及び利便性について検証する。	各アプリケーションが有効であることを運用を通じて実証する。効果及び利便性については、定性的効果検証・定量的効果検証により検証する。検証の手法として、サーバログの分析、ヒアリング、アンケート、文献調査、事務フロー調査、数量集計、机上検討といった手法を適用する。	
(4) 地方公共団体や医療機関等が保有している情報と健康情報活用基盤との情報連携に関する検証	地方公共団体や医療機関等から提供された情報(特定検診情報、診療情報等)が健康情報活用基盤を介して共有、アプリケーション等との連携が可能であることを検証すると共に、情報連携による効果及び課題について検証する。		
(5) 処方・調剤情報に関する検証	医療機関や薬局等から提供された情報(処方情報、調剤情報等)が健康情報活用基盤を介して共有、アプリケーション等との連携が可能であることを検証すると共に、情報連携による効果及び利便性について検証する。		
(6) 処方情報の電子化に関する検証	医療機関から提供された処方情報が健康情報活用基盤を介して電子的に共有、アプリケーション等との連携が可能であることを検証すると共に、情報連携による効果及び利便性について検証する。		
(7) 共同利用型健康情報活用基盤の普及に向けたID体系等に関する検討	共同利用型健康情報活用基盤を確立・普及させていくために、複数の地方公共団体や医療機関、患者等に関するID体系の在り方を検討すると共に、各種アプリケーションとのID連携の在り方について検討を行う。		
			政府における検討を踏まえ、利用者・医療機関・薬局へのID付番の考え方を検討する。また、健康情報活用基盤を核として利用者IDと共通診察券のヒモ付けを行う方法を検討する。

(参考) 検証項目

○ 定性的効果検証

主体	検証項目
(1) 医療機関	<ul style="list-style-type: none">① 1日当たりのEHRの平均参照件数② 閲覧する医療・健康情報の具体的内容及び参照目的③ EHR利用に対する課題④ 1回当たりのEHRの平均参照時間数⑤ 今後のEHRの継続利用希望割合⑥ EHR及び共通診察券の運用に対する課題
(2) 調剤薬局	<ul style="list-style-type: none">① 1日当たりのEHRの平均参照件数② 閲覧する医療・健康情報の具体的内容及び参照目的③ EHR利用に対する課題④ 今後のEHRの継続利用希望割合
(3) 地方自治体	<ul style="list-style-type: none">① EHRへの参画目的及びその成果(被保険者の行動変容など)② EHR利用に対する課題③ 今後のEHRの継続利用希望割合④ EHR及び共通診察券の運用に対する課題
(4) 患者	<ul style="list-style-type: none">① EHRの利用者数(自身の情報閲覧、医療機関での情報提示別に)② 閲覧する医療・健康情報の内容及び閲覧目的③ EHRによる医療機関のサービスの満足度④ EHR及び共通診察券の利用に対する課題(自身の情報閲覧、医療機関での情報提示別に)⑤ 1患者当たりの医療・健康情報の平均閲覧回数⑥ 今後のEHRの継続利用希望割合⑦ 診療予約による患者の利便性の向上
(5) 救急機関	<ul style="list-style-type: none">① 空床状況が確認できることによるメリット及び課題

(参考) 検証項目

○ 定量的効果検証

主体	検証項目
(1) 医療機関	<ul style="list-style-type: none"> ① 医療機関における重複検査等の減少率 ② 1患者当たりの平均入院・在院日数の短縮率 ③ 1患者当たりの平均受診時間の減少率 ④ ①～③ごとの医療費の減少率 ⑤ 1救急患者当たりの平均搬送先決定・搬送時間の減少率 ⑥ 診療予約等による医療従事者の負担軽減
(2) 調剤薬局	<ul style="list-style-type: none"> ① 日本版EHRを参照することで発覚して重複調薬等を回避した件数及び相当額 ② 調剤薬局における処方情報の入力ミスの減少率 ③ 調剤薬局における処方情報の入力時間の減少率
(3) 地方自治体	<ul style="list-style-type: none"> ① 特定保健指導対象者など新規認定者数の減少率 ② 医療費の減少率(保険者としての医療費、自治体全域での医療費)
(4) 患者	<ul style="list-style-type: none"> ① 慢性疾患患者などのバイタルデータ(例: 血圧、血糖値など)の改善率 ② 慢性疾患患者などの重症化防止による疾患罹患率の減少率 ③ 慢性疾患患者などの重症化防止による救急対応件数の減少率 ④ ①～③ごとの医療費の削減率 ⑤ ①～③ごとに、EHRに参画した者と参画していない者のデータの差異
(5) 救急機関	<ul style="list-style-type: none"> ① 救急患者の情報確認時間の短縮率 ② 救急処置レベル向上率及び救命率の向上 ③ 搬送先決定までの消防からの(各救命救急機関への)問い合わせ回数減少率 ④ 搬送に要した時間の短縮率